

## 黒部市ふれあい交流館「あこや〜の」の状況

### 1 運営体制について

- ・指定管理者（北陸バロン美装）はビル管理メインの会社のため、施設管理におけるノウハウがある。
- ・職員は館長（高校校長 0B）、指導員 5 名（北陸バロン美装社員）、清掃員 2 名（パート）の 8 名。指導員で事務を分担しており、事務員、施設管理者は配置していない。
- ・修繕は指定管理料の中で、自前で行っており、指定管理料は電気料金の値上げ等で変動はあるが、毎年ほぼ同額で推移している。

### 2 利用状況や利用者増に向けた取り組みや工夫について

- ・利用者の比率は、市内 3 割、他市 3 割、残り 4 割は県外利用者。
- ・県からの移管前は、利用者は 8 千人程だったが、現在は倍以上に利用されている。
- ・夏期は宿泊部屋が足りないため、板張りの研修室を畳張りの和室に改装するなどして、稼働率を上げている。
- ・1 室のみ他団体に事務所として貸している。
- ・青少年の研修施設ではあるが、弾力的に運用して利用者の増加につなげている。
- ・一般利用は小学生利用料の約 6 倍になるため、積極的に呼び込みをかけている。
- ・館長が高校校長 0B で、企業の人事部とつながりがあり、営業活動を行っている。
- ・県外の利用者・団体に対して積極的に呼びかけを行っている。最近では、新潟県の塾の夏期講習で 4 泊 5 日の利用があった。
- ・冬期間は毎週イベントをするほか、ショッピングセンターの出前事業など行う。

### 3 今後のあり方について（更新、長寿命化、廃止等）

- ・施設は地域の避難所にもなっており、今後も継続したい。
  - ・現状、体育館の耐震や雨漏りなど必要な改修があるので、将来的に大規模修繕を施して、長寿命化を図りたいと考えている。
- ※黒部市教育委員会生涯学習課担当者の意向

#### 【参考】

二上まなび交流館との施設比較（別紙）